

議員説明会 会議録

1 開催日時

令和8年2月18日（水曜日） 午前10時00分 ～ 午前10時40分

2 件名

令和8年度一般会計予算等について

3 議事録

（岩間総合政策部長）

ただいまから、議員説明会をはじめさせていただきます。

本日の説明・質疑事項に入らせていただきます。1項目めの令和8年度一般会計予算等について、財務部財政課の担当となります。

小原市長から予算の概要を説明いたします。

（小原市長）

私から、令和8年度の花巻市予算（案）につきまして、御説明をいたします。

令和8年度予算は、これまでの市政を継承し、第2次花巻市まちづくり総合計画前期アクションプランの分野ごとの主要な施策を計上したほか、「子ども・子育て応援プロジェクト」「花巻で暮らそうプロジェクト」を加えて予算を編成しておりますが、予算編成期に市長選挙が行われたことから、扶助費や公債費などの義務的経費や、市民生活に直結する福祉や教育をはじめとした、継続的な事業のみを計上することを基本とした「骨格予算」としております。

ただし、新規の政策的な事業であっても、国の制度への対応や、年度当初から速やかな対応が求められる事業については、骨格予算に盛り込んで編成しました。

主な継続事業として、JR花巻駅東西自由通路等整備事業、図書館整備事業を計上したほか、事業の取り組みにあたり年度当初に予算措置が必要な、畜産競争力強化整備事業などは計上したところでございます。

私からは、2つのプロジェクトと、「まちづくりの6つの分野」の主な事業について、触れさせていただきます。

まず初めに、「子ども・子育て応援プロジェクト」であります。プロジェクトの総額は、91億2,949万円を計上いたしました。

1点目は、産前・産後サポート及び産後ケアの充実であります。母子の心身のケア等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確保するため、これまでの日帰り型の産後ケア施設1施設に加えまして、令和8年6月に宿泊型の産後ケア施設1施設、8月頃に日帰り型の産後ケア施設1施設が新たに開設されます。妊娠、出産に関する悩み等の相談

支援や、産後間もない母子への心身のケアを充実させてまいります。

2点目は、5歳児健康診査の実施であります。こどもの成長や発達、生活リズムの乱れなどを確認し、保護者の不安や悩みを相談できる機会として5歳児健康診査を実施し、家庭や保育園等の関係機関と連携して、こどもの特性等に応じた適切な支援につなげることで、安心して就学できることを目指します。

3点目は、こども誰でも通園の実施であります。保護者の育児負担軽減やこどもの社会性を育むことなどを目的として、生後6か月から満3歳未満までで保育園等に通っていないこどもを対象に、就労要件を問わずに月一定時間まで、保育園等の利用が可能になり、公立1園と私立4園の合計5園で実施します。

4点目は、保育園等保育料・副食費の負担軽減であります。0歳から2歳までの保育園等の保育料について、第2子以降の無償化、第1子の国の基準からの40パーセント程度の引き下げを継続します。また、3歳以上の副食費について、第2子以降の無償化、第1子の一部支援についても継続して、子育て世帯を経済的に支援します。

5点目は、矢沢学童クラブの施設整備であります。矢沢地区義務教育学校の施設整備に関連し、矢沢小学校の空き教室に開設しております矢沢学童クラブについて、新たな施設整備に向けた基本設計及び用地取得に着手します。

6点目は、学校給食費の無償化・負担軽減であります。小学生の給食費は、国が定める軽減基準額を超える分を市が負担し、完全無償化を実施します。中学生の給食費は、食料費の価格高騰分を保護者負担に転嫁させないため、値上がり分を市が負担し、保護者負担額の据え置きを継続します。

つづきまして、「花巻で暮らそうプロジェクト」であります。プロジェクトの総額は26億3,545万円であります。

1点目は、JR花巻駅東西自由通路等の整備であります。利便性の高い都市基盤を整備するため、東西自由通路整備については、令和8年度は仮駅舎工事に着手し、仮駅舎の秋以降の供用開始を予定しているほか、通路降下部の用地取得を行います。西口駅前広場整備については、広場整備工事に着手するほか、駐車場の用地取得を行います。

2点目は、空き家バンク制度等による住宅取得支援であります。39歳以下の若者世代や県外からの転入者が空き家バンクに登録されている物件を取得した場合に、子育て世帯等の状況に応じた30万円もしくは50万円の奨励金や、空き家のリフォームに対する補助金を交付する制度を引き続き行います。また、空き家及び空き店舗を解体後、その跡地に新築した場合に最大100万円を補助する空家等解体活用事業補助金も継続します。

3点目は、産業団地の整備であります。企業立地による産業振興と雇用の場の創出を目指して進めております花南産業団地について、中央部のB工区の造成工事が令和7年度で完了しますので、令和8年度は、北側のA工区の埋蔵文化財調査などを進めるほか、南側のC工区の造成工事と調整池工事などに着手します。

4点目は、U I J ターン者就業奨励金、移住支援金の継続であります。県外から移住、就業した方に対し、最大25万円を支給する市単独事業のU I J ターン者奨励金を継続します。移住支援金については、主に東京圏からの移住者が、就労など様々な条件を満たした場合に、世帯の状況に応じ、単身世帯では60万円、2人以上の世帯には100万円、さらに18歳未満の子どもがいる世帯には一人あたり100万円を支給しております。このほか、東京圏内の大学に通う大学生が県内の企業に就職し、市内へ転入する際の移転費用に対する補助も引き続き行います。

つづきまして、「まちづくりの6つの分野」の主な事業についてであります。

1点目は、「しごと」の分野に関係する、鳥獣被害対策の強化であります。市街地等に出没する熊の痕跡が発見された際の現場確認や、目撃場所周辺の広報活動などの対応にあたる有害鳥獣対策支援員を1名増員し、3名体制にするほか、クマの生息密度調査（ヘアトラップ調査）を2か所で実施し、人里周辺で活動しているクマの状況を明らかにします。また、クマの捕獲について、県から1頭あたり8千円が交付されておりますが、市独自に2万2千円を上乗せし、県の補助と合わせて3万円を交付することとします。

2点目は、「暮らし」の分野に関係する、公共交通、タクシー助成の充実であります。市民の移動手段として欠くことのできない、幹線バス路線への支援、岩手医大などの医療機関へのバス運行、土沢線などコミュニティバスの運行を継続し、市民生活に必要な交通手段を確保します。また、交通手段をもたない高齢者や障がい者の方々の外出や通院を支援するため、タクシー等の利用料金に対する助成を継続して実施しますが、通院に伴う交通費の助成の方法を、これまでの支払いをした後で申請する方法から、事前に利用者に配布したチケットでお支払いいただく「チケット払い」へ変更し、利用しやすい制度に改善します。

3点目は、「子育て・ひとづくり」の分野に関係する、宮沢賢治生誕130年記念イベントの開催であります。令和8年度に宮沢賢治生誕130年を迎えることから、記念イベントとして、8月に予定しているライブやトーク、映像を楽しめるイーハトーブフェスティバルのほか、賢治のチェロとトシのヴァイオリンで奏でる弦楽四重奏コンサートなど、7月以降、年度を通じてイベントを開催します。

4点目は、3点目と同じく「子育て・ひとづくり」の分野に関係するものでございますが、図書館の整備についてであります。生涯学習の拠点として、新花巻図書館整備の基本設計、実施設計を進めていきます。

5点目は、「行政経営」の分野に関係する、デジタル技術を活用し、利便性を向上させる3つの取り組みであります。

1つ目は、書かない窓口化の取り組みとして、窓口DX SaaS（まどぐちディーエックスサース）システムを導入し、転入、転出、出生などに係る手続きとそれに伴う各種手続きの「書かない窓口化」を行います。

2つ目は、窓口対応の向上の取り組みとして、自動翻訳機能付きのAI音声認識字幕表示システムを導入し、会話の内容などをAIによりリアルタイムで文字化し表示するディスプレイを本庁窓口2か所へ設置し、市民と職員、双方のコミュニケーションを支援します。

3つ目は、公共施設の利用手続きの負担軽減の取り組みとして、公共施設予約システムと連携した「スマートロックシステム」を導入し、一部の施設の鍵の受け渡しを各施設へ設置するキーBOXを介して行い、オンラインで施設の予約から利用までが可能となる環境を整備します。

次に、花巻市の令和8年度一般会計予算案の内訳につきまして説明をいたします。総額は「581億2,914万円」といたしました。これは令和7年度当初予算に次ぐ過去2番目の規模となり、比較いたしますと、「4,948万円の減」、率にして「0.1%の減」とするものであります。

歳出うち、普通建設事業費は「65億8,998万円」で前年度当初予算対比「11億1,184万円の減」となりましたが、前年度に実施しておりました、保育施設環境整備支援事業や消防指令業務共同運用事業、庁舎設備等改修事業などが主な減の要因であります。

また、義務的経費でもあります、人件費が「1億1,084万円の減」、扶助費が「2億2,814万円の増」となっております。人件費については、退職手当負担金の負担率変更などに伴う減となっており、扶助費については、保育園等の運営に係る子どものための教育・保育給付費が主な増の要因となっておりまして、国の公定価格の改正が影響しております。

次に、歳入についてですが、自主財源が39.0パーセントとなっており、前年度に比べ0.8パーセント低くなっております。

市債の発行額は「33億5,320万円」の見込みで前年度当初予算対比「8億6,070万円の減」となります。

なお、国の追加配分や令和7年度補正予算において本市に対する国庫補助金の配分の通知をいただいた小学校施設維持事業などの5事業、総額「5億8,568万円」については、令和8年度当初予算ではなく、令和8年第1回臨時会において承認いただいた、令和

7年度補正予算（第12号）で予算措置したほか、これから第1回定例会に上程いたします令和7年度補正予算案（第17号）へ前倒して予算措置し、令和8年度予算と一体で事業を実施します。

令和8年度一般会計予算と令和7年度に前倒しを行う事業費を合わせた令和8年度の実質的な予算規模は、「587億1,482万円」となり、令和7年度の実質的な予算規模「584億3,206万円」との比較では、「2億8,276万円の増」、率にして「0.5%の増」とするものであります。

さらに重点的に取り組んでいく施策や政策的な経費については、私の公約等を踏まえて、前期アクションプラン掲載事業のローリング等の検討を進めながら、令和8年度早期に肉付予算として補正予算に計上する予定としております。

次に、当市の市債発行残高であります。現時点において令和9年3月末の市債発行残高は「477億6,063万円」となり、令和8年3月末の見込み額「497億1,345万円」と比べて「19億5,282万円の減」となると見込まれます。

また、臨時財政対策債や合併特例債などに対する国からの地方交付税及び民間企業からの償還金を財源とする市債を除き、市独自の財源により返済する必要のある市債の実質負担額残高は、令和9年3月末現在で「129億7,910万円」となる見込みであり、本年3月末現在の実質負担額「131億8,031万円」と比べて「2億121万円の減」となる見込みです。

以上、令和8年度予算の特徴についてご説明いたしましたが、予算の概要につきましては、財務部長から御説明をいたします。

（古川財務部長）

引き続きまして、私からは別冊資料No.1－2 資料編により予算の概要及び主要事業についてご説明させていただきます。

1ページをご覧ください。

一般会計予算額と実質的な予算規模につきましては、ただ今市長よりご説明いたしましたので割愛させていただきます。

一番下段、「一般会計及び特別会計予算額」の表ですが、一般会計と特別会計を合わせた全会計の予算総額は、「814億7,459万3千円」となり、全会計の予算総額では前年度比較で「1億0,820万9千円の減」、率にして「0.1%の減」となるものです。

次に2ページをご覧ください。

ここからは、一般会計予算についての内容となりますが、歳入の主な項目についてご説明いたします。

1 款「市税」は、「1 2 3 億 3, 4 3 7 万 6 千円」で、前年度比「2. 0 %の増」と見込んでおります。令和 7 年度の状況をもとに見込んだ固定資産税の増額などが主な要因となっております。

1 1 款「地方交付税」は、「1 5 0 億円」、前年度比「2. 0 %の増」です。内訳としましては、普通交付税に「1 3 6 億円」、特別交付税に「1 4 億円」を見込んでおります。

1 8 款「寄附金」は、「5 0 億 1 千円」、前年度と同額ですが、ふるさと納税「5 0 億円」を見込んでおります。

2 2 款「市債」は、「3 3 億 5, 3 2 0 万円」、前年度比「2 0. 4 %の減」です。主な起債事業としましては、道路・橋梁の整備・維持事業に「1 3 億 9, 2 8 0 万円」、文化施設整備事業に「5 億 4, 4 5 0 万円」、消防防災施設整備事業に「5 億 2, 0 1 0 万円」、を見込んでおります。

続いて、歳出についてですが、3 ページの目的別は説明を割愛させていただきまして、4 ページの性質別の分析による内容をご説明いたします。

「義務的経費」は「2 5 7 億 4, 2 1 9 万 9 千円」、歳出合計に占める構成比は「4 4. 3 %」、前年度比「0. 6 %の増」であります。

主な要因であります、「人件費」は、職員数や人事院勧告に基づく給与改定などを見込んで積算を行いましたが、退職手当負担金の負担率変更に伴う減などにより前年度比「1. 1 %の減」となる「9 5 億 8, 4 2 9 万 2 千円」となったほか、「扶助費」は子どものための教育・保育給付費などの増により前年度比「2. 2 %の増」となる「1 0 5 億 3, 0 4 3 万 8 千円」になったことなどによるものです。

「投資的経費」の「普通建設事業費」は「6 5 億 8, 9 9 7 万 8 千円」、構成比「1 1. 3 %」、前年度比「1 4. 4 %の減」です。

「その他の経費」は、全体で「2 5 7 億 9, 4 9 6 万 7 千円」、構成比「4 4. 4 %」、前年度比「3. 7 %の増」です。多面的機能支払交付金の減などにより「補助費等」が減、産業団地事業特別会計への「繰出金」などが減少しましたが、小・中学校学習用端末整備費など「物件費」の増により、その他の経費全体で前年度比「9 億 2, 0 7 5 万 5 千円の増」となっております。

次に、5 ページをご覧ください。主な財政指標のほか、主要 3 基金及び市債の状況を掲載しております。

はじめに、上から 2 つ目の表、基金の状況であります。財政調整基金につきましては、財源調整のため、「1 9 億 6, 2 7 6 万 1 千円」を取崩すこととし、令和 8 年度末の残高は、前年度対比「1 9 億 4, 1 8 9 万 1 千円減」の「3 3 億 5, 3 6 5 万円」と見込んでおります。

まちづくり基金につきましては、産業団地事業特別会計繰出金へ「2億6,000万円」、新花巻図書館整備へ「1億2,000万円」などの事業への財源として総額で「4億3,400万円」を取り崩すものであり、令和8年度末残高見込額は、前年度対比「2億4,368万8千円減」の「52億1,125万3千円」となるものです。

3基金の残高合計としては、前年度対比で「20億3,557万4千円減」の「100億4,789万9千円」と見込んでおります。

なお、3基金以外にも、イーハトーブ花巻応援基金がございまして、令和7年度当初予算では「15億円」を取り崩して事業に活用し、基金の残高が「2億5,000万円」となるものとしておりましたが、令和7年度のふるさと納税のうち「8億円」を積み立てる見通しでありますので、令和7年度末残高は「10億5,000万円」と見込んでおります。令和8年度当初予算ではそのうちの「10億円」を取り崩して、寄附者の意向に沿った事業に活用しております。詳細は12ページ以降になりますが、後ほどご覧くださるようお願いいたします。

また、3つ目の表、市債の状況についてですが、先ほど歳入の市債でもご説明いたしましたが、総額「33億5,320万円」の発行を予定しております。このうち、合併特例債について、欄外の※印に記載しておりますが当市の発行可能額は「389億6,820万円」となっており、令和8年度に発行を予定している「6億1,040万円」を加えた令和8年度末までの発行総額は、「321億1,670万円」となりますことから、令和9年度以降に活用できる発行可能額は「68億5,150万円」と見込んでおります。

一方、償還元金は、「53億0,602万4千円」を予定しており、令和8年度末の地方債残高は、今年度末残高見込み額対比で「19億5,282万4千円減」の「477億6,063万円」と見込んでおります。これを、令和8年1月末現在の人口8万8,501人により市民一人当たりの残高を試算いたしますと、「54万円」となるものです。

6ページ以降は、令和8年度予算の重点予算と重点施策推進プロジェクトについての説明となりますが、詳細は後ほど資料をご覧くださいことといたしまして、各プロジェクト及びまちづくりの6つの分野の概要のみを説明させていただきます。

まず、重点施策推進プロジェクト1の「子ども・子育て応援プロジェクト」についてありますが、プロジェクトを構成する7つの内容のうち、5つの内容についての予算額の合計額と、主要な事業を掲載しております。

なお、主要な事業のみを掲載しておりますので、掲載している事業の合計額とは一致しない場合があります。

「(1) 妊娠・出産・子育てに関する相談・支援体制の充実」については「4,491万円」、3つの事業を掲載しております。以降、項目とその事業総額、掲載しております事業数のみ申し上げます。

「（２）周産期医療の維持確保」、「８，８０１万円」、３事業。

「（３）妊娠・出産・子育てに係る経済的支援の充実」、「３０億１，９２８万円」、８事業。

７ページになりますが、「（４）子どもの学習支援」、「５億３，４５７万円」、４事業。

「（５）子育てしやすい環境の充実」、「５４億４，２７２万円」、６事業。

８ページになります、重点施策プロジェクト２の「花巻で暮らそうプロジェクト」であります、プロジェクトを構成する７つの内容について説明します。

「（１）移住・定住に関する相談体制の充実」、「１，９４５万円」、２事業。

「（２）移住・定住支援の充実」、「１２億２，６８２万円」、６事業。

「（３）結婚支援の充実」、「１，５７３万円」、４事業。

９ページになりますが、「（４）魅力ある商業エリアの創出」、「４，０６９万円」、２事業。

「（５）働く場の確保と所得の向上」、「１３億０，０７２万円」、６事業。

「（６）企業や地域の意識改革の推進」、「２０５万円」、１事業。

「（７）シビックプライドの醸成」、「２，９９９万円」、２事業。

１０ページになりますが、「まちづくりの６つの分野」の分野別の主な事業について、説明いたします。

「（１）しごと」、「４０億４，５７０万円」、３事業。

「（２）暮らし」、「８１億９，２２０万円」、２事業。

「（３）健康・いのち」、「１０４億１，４９２万円」、３事業。

１１ページになりますが、「（４）子育て・ひとづくり」、「１０２億３，２４１万円」、５事業。

「（５）地域づくり」、「５億６，４１０万円」、１事業。

「（６）行政経営」、「２７億９，６９１万円」、４事業。

１２ページになりますが、ここからは令和８年度のふるさと納税「５０億円」及びイーハトーブ花巻応援基金「１０億円」を活用した事業名、事業費及び充当額を掲載しております。

なお、ふるさと納税につきまして、令和８年度地方税制改正で示された「ふるさと納税制度の見直し」では、寄附金のうち地方公共団体が活用できる財源の割合を、現行の５０％以上から４年後には６０％以上に引き上げるという内容となっており、指定期間の開始と合わせて、令和８年１０月から毎年２．５％ずつの段階的な引き上げが適用される見込みとなっております。その結果、令和８年度は年度前半の９月までが５０％、後半の１０月からは５２．５％となるわけですが、市ではこの改正の影響を受け、５０億円の寄付額に対し、市が活用できる財源を年間で全体の５１．６％となる２５億８，０００万円と見込んで、予算を編成したところです。

以上、概要のみをご説明いたしましたが、詳しい事業内容については後程ご覧くださるようお願い申し上げます。以上で、令和８年度花巻市当初予算（案）の説明を終わります。

（岩間総合政策部長）

それではこの内容につきまして、皆様から確認したいこと等ございましたら、挙手のうえ発言をお願いいたします。

桜井肇議員。

（桜井肇議員）

４年に一度の骨格予算は通常どおりであります、骨格予算とはいえ予算総額を見ると、ほぼ本予算に近いのではと思うが、全体としてどうなるのか。臨時議会等を開いて補正するのか。その辺をお聞かせください。

（岩間総合政策部長）

小原市長。

（小原市長）

予算規模から見ますと、ほぼ例年の本予算に匹敵する過去２番目の予算ということではありますが、さらに私の公約に記載した事業をよく練りながら計上してまいりたいと思っております、事業費の予算の規模は、今、申し上げるわけにはいきませんが、それなりの数字になると思っております。

これまで、市が取り組んできた事業などとのすり合わせを行いながら、じっくりと検討してまいります。早期に、臨時会を開催してまでとは考えておりませんが、次の議会に向けて作業を進めていきたいと思っております。

過去２番目の規模となっておりますので、物価高騰や人件費の高騰などに対応する予算をしっかりと計上したことと、切れ目なく事業を実施していきたいということも含めており、相応の予算規模と考えております。

（岩間総合政策部長）

そのほか、ございますでしょうか。

本館憲一議員。

（本館憲一議員）

予算の質疑については、予算特別委員会で各議員が行うと思いますが、確認したいことがありますので申し上げます。振り返りますと、平成１８年１月１日の広域合併によりまして、本市が誕生してから、昨年の１２月３１日を迎えて、２０年が過ぎたこととなります。現在は、合併後２１年目に入りまして、２か月が過ぎようとしております。ですから、昨年末で新市誕生２０周年の節目を迎えておりました。

そこで、私は、いつ２０周年記念式典を行うのか、行わないのか気にかけておりましたが、さらに２０年に向かって本市の発展を期待するところで伺いますが、２０周年記念式典の開催についてどのようにお考えなのか。行うかどうかについて伺います。行くとすれば、今年度中か、それとも来年度になるのか。そこら辺についてもお尋ねいたします。

（小原市長）

２０周年記念式典をやるかどうかというお尋ねでございますが、先日、久慈市の２０周年記念イベントに参加し、本市でも行う必要があるのではないかという点も含めて見てまいりました。

他の市で既に行った式典の内容などもよく見ながら、開催については検討してまいりたいと思いますが、開催するとしたならば、１月１日からあまり遅くならない時期にやるべきではないかと思っておりますので、そうした方向性をもって、開催するかしないかを含めて検討してまいります。

（岩間総合政策部長）

そのほか、ございますでしょうか。それではご質問がないようでございますので、説明事項の１につきましては終了とさせていただきます。